

C グループ IN 胆沢区
福祉系

公共施設視察状況

- まごころ病院
 - 悠悠館
 - ぬくもりの家
 - やまゆり荘
- 住民の健康増進と福祉の向上を目的に旧胆沢町では、保健・福祉・医療の拠点施設として総合保健医療センター構想をもとに、達者の里が整備されました。在宅健康管理システムうららの活用などで成果をあげています。



公共的団体等との懇談会

行政執行状況等説明及び懇談会

- ・区内には出店断層の存在が最近確認されており、地震が起きた場合の被害が心配されます。防災計画の早期作成をお願いしたい。
- ・圃場整備事業工事のために発生した未整備道路が約50キロメートルに達しています。早期の整備が望まれます。
- ・胆沢ダムの関連で現在工事現場として使われている70ヘクタールほどの土地が工事終了後、国から返還されます。跡地の整備や有効利用の検討をして頂きたい。
- ・特養ホームやまゆり荘が独自にユニット化を進めています。市からの支援をお願いしたい。
- ・小中学校の耐震診断の結果、補強、改築等必要とされています。順次整備していただきたい。
- ・社会教育分野では経常経費及び事業費の削減で今までの事業ができないでいます。

公共的団体等との懇談会

- ・自分たちの資質をあげることを目的で「向こう三軒両隣ヘルパー研修」を年7回開催していましたが4回になりました。また毎月21日を家族そろつての「朝食デー」として声をかけています。
- ・障害者をもつ家庭は保護者の高齢化、世代交代で深刻な課題を抱えています。
- ・福祉祭りで食堂など開設し、益金をボランティア9団体の運営に当てています。
- ・地域での「ふれあいサロン」の開催やボランティア団体育成につとめています。
- ・手当てが半減されてしまい活動への熱意が損なわれた気がします。
- ・補助金が減額され活動しにくい事についてはやむ負えない面もありますが、住民活動への補助や手当てには充分配慮するべきではないか。

D グループ IN 衣川区
産業系

公共施設視察状況

- 木質バイオマスガス化発電施設
- 「黒滝温泉」
- チップボイラー利用「サンホテル衣川荘及び温水プール」
- 衣川歴史ふれあい館「漆器」
- 農村レストラン
- 「んめえがすと」

衣川区の8割を占める森林資源を有効に活用するため、木質バイオマスのエネルギー利用とマテリアル利用の実証事業が進められています。木をガス化して熱や電気を作るだけでなく（発生ガスを利用して）地球環境の保全や資源循環型社会の実現をめざす画期的な取り組みだと感じました。



ころもがわ歴史ふれあい館

行政執行状況等説明及び懇談会

- 衣川区の課題として、①品目横断的経営安定対策に対応した担い手の育成と集落営農の育成②平泉世界遺産登録に伴う商工観光振興③グリーン・ツーリズム推進に係る受け入れ体制の整備があげられました。
- また、バイオマスを安定させることにより、全国から視察が増える見通しであること。今後、黒滝温泉・国見平温泉・ふるさと自然熟・国見平スキー場等誘客対策を一層進めていく必要があると話されました。

公共的団体等との懇談会

- 衣川観光物産協会は、史跡文化、観光施設など、観光資源を広く宣伝紹介するため、観光客の受け入れ促進と物産品の振興を図りながら、地域の活性化に取り組んでいます。商工会からは、①補助金が年々削減される中で、会費や手数料等の増収も難しく財政的にも厳しいこと②合併のための環境整備が必要であること③地域振興事業の実施が難しい等の課題があると話されました。森林組合からは、累積欠損金の早期解消と林業事業の推進について話されました。

E グループ IN 水沢区
建設・まちづくり系

公共施設視察状況

- 分譲地（マイアネタウン・桜屋敷）
 - メイプル
- 分譲地（マイアネタウン・桜屋敷の2カ所）：建築協定を定め、町並みの統一性を保つと共に、電気やケーブルテレビを白いポールに引いた後、地中を介し住宅に引くなど景観にも配慮されていました。



マイアネタウンにて

メイプル：1階はジョイイスを中核店舗として、地下には、公共的な文化教養施設を導入しリニューアルオープンしたものです。

行政執行状況等説明及び懇談会

- 最大の課題は、本庁機能が弱いことであり、総合支所職員が本庁の仕事をかねて処理している。部長制の活性化を図り、決済事務をスムーズにすること。総合支所機能を、サービス窓口としてスリム化すること。区長のあり方を検討すること。
- 保健福祉センターの見直し、水沢・真城小学校の改築など、水沢区の新市建設計画の見直しが必要である。具体的には、建築確認のあり方、工事発注時の積算見積りもあり方、事務事業の統一の問題等具体的な問題点の指摘がされた。

公共的団体等との懇談会

- 奥州・いわてネット：地域のNPO活動を支援する「中間NPO」、NPOの啓蒙活動ができるかが問われている。水沢まちづくり運動協議会：水沢市の市民憲章推進の母体。市民憲章の出来るだけ早い制定をお願いしたいとのこと。水沢建築業協会：合併特例債の可能な範囲での積み増し、各年度前期前倒し発注を求めている。奥州市土地開発公社：公有地拡大に関する法律に基づき、市の方針に沿う、公有地先行取得・斡旋等、宅地・工業用地の開発分譲を行っている。